チャペル週報

No.18

2026.11.2～11.6

イエスは言われた。「近くのほかの町や村へ行こう。そこでも、

私は宣教する。私はそのために出て来たのである。」

マルコによる福音書　1 章 38 節



学生会館新館（西宮上ケ原キャンパス）

関西学院宗教センター

チャペル・スケジュール

時　間 ： 西宮上ケ原キャンパス・神戸三田キャンパス・西宮聖和キャンパス 10:30～11:00
場　所 ： 各学部チャペル（ランバスチャペルアワーは西宮上ケ原キャンパスランバス記念礼拝堂）

11 月 2 日(月)	**神**	音楽チャペル 関西学院聖歌隊
	人	白波瀬 達也（人間福祉学部教授）
	建	大仁田 空（日本キリスト教団塚口教会伝道師）
	短大	坂口クラス ダッドレーチャペル
11 月 4 日(水)	**神**	私が選んだ聖書のことば⑦ 水野 隆一（神学部教授）
	社	大切なもの① 阿部 潔（社会学部教授）
	法	Christian M. Hermansen（宣教師、法学部教授）
	商	古沢 昌之（商学部教授）
	人	李 善恵（宣教師、人間福祉学部教授）
	国	柳澤 田実（神学部准教授）
	理・エ・生環	成田 いうし（日本キリスト教団磐上教会牧師）
	教	院生としての歩みのなかで 加島 花南（教育学研究科 M1 年）
11 月 5 日(木)	**神**	朴 鍾明（神学研究科 M2 年）
	文	Andreas Rusterholz（宗教主事）
	社	人権を考えるチャペル 鎌田 真（神戸三田キャンパス事務室職員）
	法	大宮 有博（宗教主事）
	経	人間を考える③ 二村 淳子（経済学部教授）
	商	木原 桂二（宗教主事）
	人	宗教総部
	国	Esben Petersen（宣教師、神学部助教）
	総	小原 絢子（画家・絵本作家）
	短大	小栗 献（日本キリスト教団神戸聖愛教会牧師）
11 月 6 日(金)	**ランバス**	平和を造り出す② 打樋 啓史（宗教総主事）
	神	私が選んだ聖書のことば⑧ 岩野 祐介（神学部長）
	文	Chapel in English Andreas Rusterholz（宗教主事）
	経	人間を考える④ 田 禾（経済学部教授）
	理・エ・生環	大垣 友行（日本キリスト教団仁川教会牧師）

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:20～8:40　ベーツチャペルにて開催

11 月 6 日(金)　理学部のために 山口 宏（理学部長）

Zoom でもご参加いただけます。

オンライン（Zoom）

「正しい自分」という罠

岡村　浩一郎

「自分の『正義』を振りかざす」ということについて皆さんと一緒に考えたいと思います。このテーマは、日常生活で私たちがどのように情報を受け取り、選別、吸収するのかという問題にも深く関わっています。

私たちが正義を求めること自体は大切ですが、自分が「正しい」と信じることが必ずしも他者にとって良い結果をもたらすとは限りません。自分の正義を押しつけることで、他者を傷つけてしまうこともあります。聖書の「人を裁くな。あなたがたも裁かれないようにするためである。」（マタイによる福音書７章１節）という言葉は私たちに、自分の正義を振りかざす前に自分自身を省みる必要、そして自分もその正義で裁かれる存在であることを語りかけているのではないでしょうか。

今から遡ることほぼ半世紀前の 1977 年に『ものぐさ精神分析』という書籍が出版されました。著者はこの５月に亡くなられた心理学者・評論家の岸田秀です。日本の近代化といったトピックを精神分析理論の観点から平易な文章で解説しており、当時話題になったそうです。その中で岸田氏は「われわれは、『天に代わりて不義を討っ』ているつもりのときに、いちばん悪いことをする」と語っています。

私たちの日常に深く根ざしたインターネットは 1995 年頃から普及を始め、その数年後には民主主義を発展させるという期待もありました。しかし今日、ネットの「フィルターバブル」や「エコーチェンバー」により自分の意見ばかりが強化され、異論に触れる機会が減っています。また、匿名性や非対面での批判は言葉を過激にし、日常の感覚まで麻痺させがちです。問題の根本はテクノロジーではなく人間の内面にあります。岸田氏は「攻撃欲を正当化するためにもっとも都合がよいのは、『正義の味方』というセルフ・イメージである」と語っています。

独善的な正義は周囲へ危害を及ぼす恐ろしいものになりえます。独善に陥らないためには多角的な視点を養うことが大事です。ネット情報だけに頼らず新聞など多様な情報源に触れること、疑問を持ち裏付けを確認する批判的思考を養うこと、そして留学や旅行により見聞を広げることを心掛けてください。そうすることでつい見過ごしがちな自らのバイアスに意識が向くようになります。

大学での学びを通して柔軟な思考を培い、自分の正義を振りかざすのではなく、他者を深く理解できる豊かな人に成長してください。

（商学部教授）

●夕の礼拝のご案内

勉学や仕事終わりなどに、どなたでもご参加いただける礼拝です。オルガンの音に耳を傾け、賛美歌を歌い、聖書の言葉に聞き、日々の忙しさと喧騒の中で、こころ静かに過ごすひとときとなれば幸いです。皆様のご参加をお待ちしています。

日時･場所 ： 11 月 17 日（火）18:30～　ランバス記念礼拝堂（西宮上ケ原キャンパス）

テ　ー　マ：「黙想と祈りーテゼの歌とともに」　問い合わせ ： 学校法人関西学院法人部 TEL. 0798-54-6740

●サテライトキャンパスでのチャペルアワー

大阪梅田キャンパスと西宮北口キャンパスでもチャペルアワーを実施しています。
どなたでもご参加いただけるプログラムです。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

大阪梅田キャンパス（アプローズタワー14 階 1405 教室）

11 月 19 日（木）17:50～18:10　嶺重 淑（大学宗教主事）

西宮北口キャンパス（阪急西宮ガーデンズゲート館 7 階 多目的室）

11 月 13 日（金）10:35～10:55　嶺重 淑（大学宗教主事）

●第 233 回ランバス演奏会　リコーダー・アンサンブルコンサート「レアール」

「レアール」は 1993 年に関西学院大学応援団総部吹奏楽部 OB･OG を中心に結成されました。ランバス演奏会への出演は 24 回目を迎えます。バロック音楽を中心に古楽からジャズに至るまで幅広いジャンルの音楽をレパートリーに活動しています。（入場無料･予約不要）

日時･場所 ： 11月26日（木） 17:30～19:00 ランバス記念礼拝堂（西宮上ケ原キャンパス）

出 演 者 ： Real（レアール）　　主　　催 ： 関西学院宗教センター（tel.0798-54-6018）

●第 234 回ランバス演奏会

平井満美子と佐野健二のデュオは世界でも数少ないルネサンス、バロックリュート歌曲のスペシャリストです。ランバスチャペルに響く歌とリュートの音色をたっぷりお楽しみください。（入場無料･予約不要）

日時･場所 ： 12月3日（木） 17:00～18:00 ランバス記念礼拝堂（西宮上ケ原キャンパス）

出 演 者 ： 平井 満美子／歌、佐野 健二／リュート

主　　催 ： 関西学院宗教センター（tel.0798-54-6018）

●2026 年度 第 1 回教育研究部サロン「キリスト教主義学校と国家権力――現代日本を中心に」

戦前の日本において、教育と宗教の分離を求めた文部省訓令第 12 号は、キリスト教主義学校に大きな影響を与えました。現在においても、学術研究や教育の分野に国家の政策や制度が影響を及ぼす事例が見られます。こうした状況を踏まえ、学校教育と国家との関係について、ともに考えてみましょう。

日時･場所 ： 11 月 19 日（木）17:10～18:40 大学院 1 号館会議室 1 （西宮上ケ原キャンパス）

お　　話 ： 芦名 定道（宮城学院女子大学学長）

司　　会 ： 北村 泰彦（工学部教授）　　主　　催 ： 関西学院宗教活動委員会

※対象は関西学院教職員および学生（申込不要）

※対面で実施しますがZoom参加も可能です。以下 URL もしくは QR コードからご参加ください。

https://kwansei-gakuin.zoom.us/j/92491754686?pwd=G1utFUjYHGiW5UtyRRTr2FAqAcaQWy.1

●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝

授業期間中の第 2･第 4 日曜日（原則）の 10:00～11:00 に関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っています。どなたでも（クリスチャンでなくとも）ご参加できますのでどうぞお越しください。

11 月 8 日（日）10:00～11:00 永眠者記念礼拝

●「関西学院クリスマス at ザ･シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

関西学院最大のクリスマスページェントを大阪のザ･シンフォニーホールで開催いたします。

日　　時 ： 12 月 17 日（木）17:30 開場 18:30 開始 20:50 終了予定

参 加 費 ： 2,500 円　全席指定席 チケット販売（9 月 18 日販売開始）

参加費は運営費を除いた全額を宗教活動委員会を通して関係団体･施設等に献金いたします。